

# 平成25年度 天竜川ダム工事安全協議会の開催報告

## 1. 概要

天竜川ダム統合管理事務所は、労働災害絶滅をめざして発注者(事務所長以下監督職員等)、受注者(現場代理人等)、近隣町村職員あわせて34名の参加により工事安全協議会を開催しました。

午後1時より小渋ダム土砂バイパストンネル呑口および吐口整備工事の現場パトロールを実施後、事務所会議室において工事安全協議会を開催しました。

講師として、伊那労働基準監督署小林氏を招いての講演の中では、「寒波が予想される場合には、前日に翌朝の凍結・除雪対策について周知しておく」など地域特性に関する話題もありました。

## 2. 実施内容

(1) 日 時：平成26年1月24日(金) 13:00～16:30

(2) 会 場：天竜川ダム統合管理事務所 2階大会議室

(3) 内 容

1) 現場パトロール (13:00～14:30)

- ・小渋ダム土砂バイパストンネル関連工事現場

2) 工事安全協議会 (14:30～16:30)

- ・会長挨拶
- ・事業概要・直轄工事の事故事例について
- ・講演「労働災害の防止について」伊那労働基準監督署
- ・建設業法に基づく適正な施工の確保の向けて



工事説明



呑口整備工事パトロール



吐口整備工事パトロール



現場パトロール講評



協議会会長挨拶



伊那労働基準監督署による講演

<p>土砂バイパストンネルの工事現場をパトロールする参加者</p>	<h3>労災防止へ 安全意識向上を</h3> <p>中川の小渋ダムで 工事安全協議会</p> <p>中川村大草の国土交通省天竜川ダム統合管理事務所は24日、ダム工事の安全協議会を同村の小渋ダムで開いた。工事を受注する建設会社関係者や近隣町村の担当職員ら約30人が参加。2016年度からの試験運用開始を目指す土砂バイパストンネルの工事現場パトロールや安全に関する講演を行い、労働災害を防ぐための知識と安全意識向上を図った。</p> <p>バイパストンネルは出水時に細かい土砂をダムを迂回して流し、ダム湖の堆砂量を抑える目的があり、08年度に着工。下流に土砂を供給することで河川環境の健全化を図る効果も期待される。延長は約</p>
<p>26.01.25-長野日報(15面)</p>	<p>4000m。トンネル部分の工事はほぼ終了し、現在は上流の流入口とダム下流の流出口部分で整備が行われている。</p> <p>掘削作業の終了に伴い、さまざまな工事の発注が始まり、作業に携わる建設業者も増えてきたことから、同事務所では初の安全協議会を設定。関係者が一堂に集まり、労働災害の防止に向け、改めて安全意識の高揚を図った。</p> <p>参加者らは工事現場を訪れ、担当者の説明を聞きながら安全管理の状況をチェック。作業員の安全に配慮し、改善すべき点を指摘し合った。パトロール後、管理事務所が開いた協議会で木村秀治所長は「試験運用開始に向け、工事は最後の追い込み。今後ますます現場は錯綜してくる」とし、関係者に安全な工事の遂行を呼び掛けた。(堀木俊典)</p>